

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	041	都市間交流の促進					
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	市民協働推進部 協働推進課
	基本施策	03	国際化と都市間交流の推進				
めざす姿	姉妹都市・友好都市との文化、教育、経済、産業など広範な分野で、地域特性を活かした交流活動を多くの市民参加の下で実施しています。また、市民の自主的な交流活動の支援により、住民相互の理解が深まり、都市の魅力が高まっています。						

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	8,085,000	6,228,000	11,339,000	7,612,000	7,182,000	21,769,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	210,000	210,000	715,000	210,000	210,000	12,310,000
一般財源	7,875,000	6,018,000	10,624,000	7,402,000	6,972,000	9,459,000
予算現額	8,341,000	6,378,000	11,343,000	7,562,000	7,182,000	0
決算額	8,207,084	6,066,521	10,882,515	1,319,093	3,075,509	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	204,000	308,000	0	0	0
一般財源	8,207,084	5,862,521	10,574,515	1,319,093	3,075,509	0
執行率	98.4	95.1	95.9	17.4	42.8	0.0
(人件費)						
職員数	1.75	1.85	1.85	0.90	0.90	0.00
職員人件費	13,442,842	14,526,515	14,859,117	6,964,682	6,981,565	0
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0
(間接経費)						
間接経費	3,747,197	4,399,032	4,591,609	2,544,427	2,780,118	0
総コスト	25,397,123	24,992,068	30,333,241	10,828,202	12,837,192	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
佐久穂町との交流事業に参加した市民の数	252	実績	177	160	0	0	210
	人	達成率	84.3	76.2	0.0	0.0	
佐久穂町からの交流事業に関わった市内の団体数	-	実績	3	1	0	0	5
	団体	達成率	60.0	20.0	0.0	0.0	
友好都市ヘルナルス区へのホームステイ派遣者数	6	実績	6	6	0	0	6
	人/年	達成率	100.0	100.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

佐久穂町との交流事業、ヘルナルス区へのホームステイ派遣事業とも、新型コロナウイルスの影響により実施を取り止めた。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	市民との協働による姉妹都市・友好都市との交流事業の実施。	市民との協働による姉妹都市・友好都市との交流と、ホストタウンと連携した友好都市のPR。	新型コロナウイルスの影響により予定していた交流事業は実施できなかったが、佐久穂町とは災害時等に相互に救援物資を提供するなど、友好関係を構築できている。ヘルナルス区とはオンラインや書面により今後の交流に向けた計画を進めている。	新型コロナウイルスの影響により予定していた交流事業は実施できなかったが、佐久穂町とは災害時等に相互に救援物資を提供するなど、友好関係を構築できている。ヘルナルス区とはオンラインや書面により今後の交流に向けた計画を進めている。
達成できていない点	より多くの市民が参加できる、広範な分野における交流の実現。	市民が主体となった広範な分野における交流の実現。	市民が主体となった広範な分野における交流の実現。	市民が主体となった広範な分野における交流の実現。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

昭和54年10月に長野県八千穂村と姉妹都市盟約を締結した。平成17年3月に八千穂村が佐久町と町村合併し佐久穂町となった後も引き続き姉妹都市盟約を締結し、地域特性を生かした市民対象の交流事業と各種イベントで佐久穂町特産物の販売や姉妹都市のPRなどを行い、市町の交流を深めている。近年は、市民・町民による自発的な交流も行われている。

ウィーン市ヘルナルス区とは平成4年8月に友好都市協定を締結し、友好訪問団の受入、学校間・施設間の交流、写真展の開催などを実施している。平成6年度からは、府中市の青少年（高校生）をヘルナルス区へホームステイ派遣しており、ヘルナルス区からの府中市への高校生派遣の受入も行うなど、国際理解と国際意識を持つ人材の育成を推進し、友好都市としての交流関係を継続・発展させてきた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

姉妹都市佐久穂町との交流事業のうち、参加者が高齢化している事業があるので、幅広い年齢層が参加できる事業を検討していく必要がある。また、佐久穂町との交流事業は昭和58年より市民団体に協力をいただき実施しているが、今後も市民中心の交流事業を実施するために後継者の育成と団体が自立して活動できる組織体制が必要である。

友好都市ヘルナルス区との交流では、多くの市民がヘルナルス区との交流事業に関心を持ち、交流に参加できる事業を検討する。

今後の展開

佐久穂町との交流については、幅広い年齢層の市民が交流に参加でき、教育・経済・環境等、時勢に応じたものを取り入れ、市と町それぞれの地域特性を生かした内容の交流事業の実施を検討していく。

ヘルナルス区との交流事業では、市民が関心を持てる情報の提供や、多くの市民が参加できる交流事業を検討していく。

また、佐久穂町、ヘルナルス区とも新型コロナウイルス感染拡大など人の往来ができない状況でも可能な交流を検討する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
姉妹都市交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・府中友好都市交流協会との、市民を対象とした交流事業の実施（春・秋のバスハイク、自然の旅、親子農産物収穫体験） ・佐久穂町への郷土芸能派遣 ・イベント時の姉妹都市PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中友好都市交流協会との、市民を対象とした交流事業の実施（春・秋のバスハイク、自然の旅、親子農産物収穫体験） ・佐久穂町への郷土芸能派遣 ・イベント時の姉妹都市PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中友好都市交流協会との、市民を対象とした交流事業の実施（春・秋のバスハイク、自然の旅、親子農産物収穫体験） ・佐久穂町への郷土芸能派遣 ・イベント時の姉妹都市PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中友好都市交流協会との、市民を対象とした交流事業の実施（春・秋のバスハイク、自然の旅、親子農産物収穫体験） ・佐久穂町への郷土芸能派遣 ・イベント時の姉妹都市PR
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	-----			
市民協働推進部 協働推進課	荒天による一部事業の中止はあったが、おおむね計画通り事業を実施できた。	台風の影響により一部の事業を中止したが、市民の参加による事業を実施できた。	新型コロナウイルスの影響により計画していた交流事業の実施は取り止めたが、災害時等に支援物資を相互に提供するなど、友好関係の構築を進められている。	新型コロナウイルスの影響により計画していた交流事業の実施は取り止めたが、災害時等に支援物資を相互に提供するなど、友好関係の構築を進められている。
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	2,492			
友好都市交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市高校生等派遣事業 ・ヘルナルス区高校生のホームステイ受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市高校生等派遣事業 ・ヘルナルス区高校生のホームステイ受入 ・日壇修好150周年記念、ホストタウン交流事業（オーストリア音楽演奏会、市民交流会） ・ヘルナルス区友好訪問団の来訪受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市高校生等派遣事業 ・ヘルナルス区高校生による府中市中学校訪問受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市高校生等派遣事業 ・ヘルナルス区高校生のホームステイ受入
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	-----			
市民協働推進部 協働推進課	相互ホームステイ派遣事業を計画通り実施できた。	相互ホームステイ派遣事業のほか、日壇修好150周年記念及びホストタウン交流事業として市民参加イベントを予定どおり開催し、友好都市とホストタウンをPRできた。	新型コロナウイルスの影響により計画していた交流事業の実施は取り止めたが、市長とヘルナルス区長によるオンライン対談を実施したほか、書面やオンラインにより今後の交流について計画を進めた。	新型コロナウイルスの影響により計画していた交流事業の実施は取り止めたが、市長とヘルナルス区長によるオンライン対談を実施したほか、書面やオンラインにより今後の交流について計画を進めた。
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	21,900			
【進捗状況】				
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 姉妹都市交流事業	30		649,000	10,560	459,000	姉妹都市佐久穂町との交流事業の実施	B	1
2 友好都市交流事業	30		6,533,000	3,064,949	21,310,000	友好都市ウィーン市ヘルナルス区との交流事業の実施	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			7,182,000	3,075,509	21,769,000			

施策評価シート

記載年月	令和4年9月
対象年度	令和3年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	042	国際化の推進					
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	市民協働推進部 協働推進課
	基本施策	03	国際化と都市間交流の推進				
めざす姿	日本人と外国人の市民が、互いに言語・文化の違いを理解し、多様な価値観を認め合いながら、ともに安心して生活できるまちになっています。また、海外友好都市との交流を通して、市民の国際理解が深まっています。						

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	7,278,000	9,547,000	10,216,000	13,202,000	16,734,000	22,520,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	300,000	651,000	420,000	348,000	300,000	300,000
一般財源	6,978,000	8,896,000	9,796,000	12,854,000	16,434,000	22,220,000
予算現額	7,022,000	9,397,000	10,212,000	13,252,000	16,734,000	0
決算額	6,681,300	7,665,040	7,185,087	9,311,504	12,970,921	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	231,500	47,900	190,000	0	0	0
一般財源	6,449,800	7,617,140	6,995,087	9,311,504	12,970,921	0
執行率	95.1	81.6	70.4	70.3	77.5	0.0
(人件費)						
職員数	0.95	1.05	1.05	1.65	1.65	0.00
職員人件費	7,297,543	8,244,779	8,433,553	12,768,584	12,799,535	0
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0	0	0
(間接経費)						
間接経費	2,034,192	2,496,747	2,606,047	4,664,783	5,096,883	0
総コスト	16,013,035	18,406,566	18,224,687	26,744,871	30,867,339	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
府中国際交流サロンボランティア登録者数	130	実績	140	162	89	172	180
	人	達成率	77.8	90.0	49.4	95.6	
外国人の日本語学習会参加者数	3,390	実績	4,107	3,900	1,181	1,013	4,800
	人	達成率	85.6	81.3	24.6	21.1	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

新型コロナウイルス感染拡大防止のため日本語学習会の開催を一部中止したため、参加者数は減少している。

4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている
達成できている点	府中国際交流サロンでの日本語学習会、文化交流事業等の継続的な実施。	府中国際交流サロンでの日本語学習会、文化交流事業等の継続的な実施。市民活動センターでの国際交流・異文化理解を促進するイベントの実施。	府中国際交流サロンでの日本語学習会、文化交流事業等の継続的な実施。市民活動センター内の府中国際交流サロンDIVEでの国際交流・異文化理解を促進するイベントの実施。	府中国際交流サロンでの日本語学習会、文化交流事業等の継続的な実施。市民活動センター内の府中国際交流サロンDIVEでの国際交流・異文化理解を促進するイベントの実施。
達成できていない点	より多くの市民への多文化共生意識の啓発。	より市民への多文化共生意識の啓発。	より多くの市民への多文化共生意識の啓発。	幅広い市民、職員への多文化共生意識の啓発

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>平成7年4月に市民ボランティアの協力からなる府中国際交流サロンが設立され、在住外国人への日本語学習会を週3日5回開催しているほか、外国人と日本人との交流事業、生活に必要な情報提供や簡易な相談ができる場として活動を行っている。日本語学習会は市民ボランティアの協力により運営されているため、ボランティア養成・レベルアップのための研修会を年2回実施している。また平成17年2月には、東京外国語大学との協働事業として児童学習支援を開始した。外国出身や外国とつながりがあり、日本語での授業に困難がある市内の小・中学生を対象に、東京外国語大学の学生ボランティアにより週1回、日本語・学習支援を行っている。</p> <p>生活情報の提供としては、平成7年12月から「府中インフォライン」を年4回発行している。平成18年4月からは、従来の日本語・英語に中国語・ハングルを加えた4か国語表記で発行している。</p> <p>外国人学校児童・生徒保護者への補助金事業は、平成6年度に開始した。当初の補助額は1,000円/月であったが、平成8年度から2,000円/月に改正した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>府中国際交流サロンで現在実施している日本語学習会等の支援を継続するとともに、役割を分担しながら、生活支援等も含めた多文化共生の推進を図る必要がある。そのために、市民ボランティアの育成・確保や、関係機関との連携が求められる。</p> <p>生活情報の提供については、外国人の必要とする情報の把握と、迅速・的確に発信するルート・手段の研究と構築が必要である。</p>
今後の展開
<p>府中国際交流サロンにおける日本語学習会や日常生活情報の提供等、現在の取組を継続するほか、サロンの認知度の向上を図る。市とサロンが役割を分担し、外国人に対する支援を拡充し、多文化共生の推進を図る。</p> <p>プラッツ内の府中国際交流サロンを府中市多文化共生センターDIVEと名称変更し、外国人相談窓口や外国人向け情報発信の機能の拡充、及び市民が参加しやすい国際交流の機会の提供などによる市民の多文化共生意識の向上を図る。</p> <p>児童・生徒に対しては、東京外国語大学との連携による児童学習支援を継続するほか、関係他部署とも連携して支援に当たる。</p> <p>緊急（災害等）時における支援体制や情報提供の充実について検討し、多言語で確実な情報を迅速に伝えられる手法の確立を図る。</p> <p>外国人学校児童・生徒保護者への補助金事業は、他自治体の実施状況を把握するなどして、補助額の適正化に努める。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
国際交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンの運営（日本語学習会、児童学習支援、日本語教授法研修会、多文化共生講演会、文化交流事業等の実施） ・多言語情報紙「府中インフォライン」の発行 ・市民団体の国際交流活動に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンの運営（日本語学習会、児童学習支援、日本語教授法研修会、多文化共生講演会、文化交流事業等の実施） ・多言語情報紙「府中インフォライン」の発行 ・市民団体の国際交流活動に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンの運営（日本語学習会、児童学習支援、日本語教授法研修会、多文化共生講演会、文化交流事業等の実施） ・多言語情報紙「府中インフォライン」の発行 ・市民団体の国際交流活動に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・府中国際交流サロンの運営（日本語学習会、児童学習支援、日本語教授法研修会、多文化共生講演会、文化交流事業等の実施） ・多言語情報紙「府中インフォライン」の発行 ・市民団体の国際交流活動に対する支援
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
市民協働推進部 協働推進課	府中国際交流サロンでの日本語学習会等を継続しているほか、市民活動センターでの国際交流イベントを定例で開催できた。	府中国際交流サロンでの日本語学習会等を継続しているほか、市民活動センターでの国際交流イベントを定例で開催できた。	府中国際交流サロンでの日本語学習会の実施により、日本語学習の支援のほか外国人市民に生活情報を提供する場となっている。市民活動センターでのオンラインでの国際交流イベントの開催により、市民の異文化理解を促進できている。	府中国際交流サロンでの日本語学習会の実施により、日本語学習の支援のほか外国人市民に生活情報を提供する場となっている。市民活動センターでのオンラインでの国際交流イベントの開催により、市民の異文化理解を促進できている。
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	40,844			
外国人学校就学支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対する補助金の交付
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
市民協働推進部 協働推進課	申請に基づき補助金を支給した。	申請に基づき補助金を支給した。	申請に基づき補助金を支給した。	申請に基づき補助金を支給した。
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,920			
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	R 3年度		R 4年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 国際交流推進事業	30		16,422,000	12,874,921	22,280,000	在住外国人への支援及び市民団体の国際交流活動への支援の実施	B	1
2 外国人学校就学支援事業	30		312,000	96,000	240,000	外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して、補助金を交付する。	B	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			16,734,000	12,970,921	22,520,000			